

第2回 朝倉運動公園再整備町民検討委員会 議事概要

日 時：令和6年8月30日（金）14時00分～15時30分

場 所：垂井町文化会館 小ホール

出席委員（敬称略）：後藤 誠一、古山 昌人、西川 一明、山田 成利、奈良 平三、
松浪 敏郎、遠藤 誠、三輪 幸子、角田 寛、浦野 真由美、
佐竹 まみ、太田 佳祐

議事の概要（主な意見）

- （1） 町民・利用者アンケート調査結果について
- （2） 体育館・体育センターの整備の方向性について
- （3） 再整備の基本理念、基本コンセプト、整備方針について
- （4） 官民連携方針について

1. 開会

【事務局】

- ・本来であれば、町長よりこの場で皆様にご挨拶申し上げるのが本意であるが、本日他の公務が入っているため、垂井町都市計画課課長の衣斐浩一がご挨拶申し上げます。
- ・本日はお忙しい中、また台風10号が接近している中、ご出席いただき深く感謝申し上げます。平素は本町の町政の推進について、格別なるご期待とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
- ・さて、子どもたちは長い夏休みも終わろうとしている。この夏休み期間中、朝倉運動公園をはじめとした都市公園を見て回ったが、子どもたちが元気よく遊んでいる姿を見ると、公園を管理する立場としては嬉しく思う。
- ・当委員会では朝倉運動公園再整備基本構想の骨格となる基本理念、基本コンセプト、整備方針について、本日協議をお願いしたい。
- ・再整備後のパークマネジメントにおいても官民連携の手法についていくつか紹介する。

2. 議題

（1） 町民・利用者アンケート調査結果について

（2） 体育館・体育センターの整備の方向性について

（3） 再整備の基本理念、基本コンセプト、整備方針について

【委員】

- ・資料-1 P3 利用者アンケート調査結果において、お住まいの地域の設問で町外が多い理由はどのようなことが考えられるか。
- ・町外の方の利用者が多いことは、町民の利用者への影響はあるのか。

【事務局】

- ・町民と町外の方の利用料金が同額であるため、町外が多いと考える。大垣市では市内より市外

の方の利用料金が高くなっている。町内の公共施設の利用料金の見直しを実施するため、朝倉運動公園における施設の利用料金の見直しも検討していく。一方では交流人口の拡大の面でメリットもあると思っている。

- ・利用日の前月 20 日までに申し込みを募集しているが、予約数が多い場合は町内の方を優先して予約の許可をしている。余裕がある場合は、随時予約募集を継続し、先着順に予約できる仕組みとしている。

【委員長】

- ・町外の方の利用者はどのような特徴、属性があるのか。

【事務局】

- ・遠いところでは滋賀県の方や岐阜市の方も利用している。

【委員】

- ・町外の方はどんな施設を使っているか。

【事務局】

- ・野球場は町外の方も利用している。野球場は 1 チーム使ったら使えなくなる。
- ・体育館の利用も多いと思う。体育館は貸し出しの最小面積が全面 1 / 6 であり、小さい面積の貸し出しが可能であるためバトミントンの利用が多い。
- ・トレーニング室は町内外関係なく利用されており、仕事終わりなどで使う人が多い。町外の方でも垂井町に生活圏がある方が利用していると思われる。

【委員】

- ・アンケートでは高齢者の回答が多いが、高齢者はどのような利用をされているか。

【事務局】

- ・定年を迎えた方が日中に利用されている。健康増進や仲間づくりのため、体育館でタスポニーなどの軽スポーツで利用されている。スポーツグラウンドで野球をする団体もある。

【委員】

- ・土日と平日の利用はどのような割合であるか。

【事務局】

- ・日中は土日のほうが多い。土日はスポーツの練習や大会があるため、ほぼ全て埋まることが多い。平日の日中は比較的空きがある印象であり、夜は平日と土日関係なく利用がある。

【委員】

- ・朝倉運動公園再整備の計画は、何年を目途に結論を出すのか。
- ・アンケート結果の内容を吟味し、朝倉運動公園の再整備をしていくとしたときの町の予算はどう考えているか。

【事務局】

- ・委員会資料では、再整備およびパークマネジメントのスケジュール感は示していない。今年度は、朝倉運動公園再整備の基本構想を策定し、この構想に基づき順次検討していく。
- ・予算について、大きくお金がかかるのは体育館の建替えである。公共施設等総合管理計画では、

体育館を耐震工事した上で耐用年数まで利用していく方針である。しかし、体育館の老朽化が著しいこと、現在の体育館がイエローゾーン区域内にあることから、整備方針では体育館は建替えの方針としている。ご意見のとおり、アンケートの意見をすべて叶えようとする膨大な予算がかかる。少なくとも、新体育館を整備するためには、10億円以上かかるため、垂井町のその他の公共施設整備との兼ね合いを踏まえ、トータル的な面で検討していく必要があると考える。また、アンケート結果でショックであったのが、町民の6割が公園を「ほとんど利用しない」および「まったく利用しない」ということである。こうした公園に予算をつけるのは難しいこともある。ただ、魅力が低いがゆえに利用されていないとも考えられる。

【委員】

- ・都会や大きい都市の公園ではネーミングライツで成功しているところもあるが、メリットとデメリットがあるため、考えてやらなくてはならない。同じ人口規模感の事例を調べて参考にしてみようという。専門家の意見を聞くことも大事だと思う。

【事務局】

- ・ネーミングライツなどの活用は検討していく。事例も調査しているところである。

【委員】

- ・モデルとなるような公園があれば紹介があるとよい。近いところがあれば視察させてもらえるとよい。
- ・垂井町にはスポーツ関連の団体がある。団体との意見交換もあるとよい。

【事務局】

- ・視察については委員の皆様もお忙しいと思うため、事務局の方で今後事例等を調査していきたい。現時点で把握している最近の身近な公園の整備事例としては、ネーミングライツを活用している瑞穂市のサンコーパレットパーク、また、本巣市のもとまるパークなどがある。体育館の整備に関しては岐阜県内ではあまり事例がないと思っている。垂井町と同等の人口規模で身の丈にあった事例を調べていきたい。
- ・様々な方との意見交換については、アンケート結果のとおりスポーツ利用だけではないため、各種団体に対して、意見交換の機会を伺っていきたいと思う。また、この委員会でも各関係団体の方がみえるので、そのような場をつくり、参考となる意見を取り入れていきたいと思う。

【副委員長】

- ・朝倉運動公園の体育館は地震時において避難所として不適であるため、朝倉運動公園周辺の方々の地震時の避難所は宮代小学校となっている。朝倉に住んでいる方からなぜ避難所として朝倉運動公園を利用できないのかという意見がある。避難所として利用できるよう、ぜひ建替えてもらえるとよい。

【委員】

- ・先日の蒲郡での土砂崩れなど、災害の区域に指定されていないところでも被災した事例がある。災害時を考慮して改修ではなく建替えをしていただきたい。

【事務局】

- ・学校施設を避難所としているが、学校については一定期間が経過した後は学習の場に戻したい。そういった観点からも朝倉の体育館に避難所の機能が必要であると考えている。そのほかの機能については住民との対話の中で考えていきたい。

【委員】

- ・アンケートの意見および要望は、利用している人のものが多くなりやすいため、利用していない人も含めて、多くの人がスポーツを利用してもらうにはどうするかということが課題となる。
- ・設備の要求水準書が地域の要求だけでなく、パークマネジメントの視点からどのような事業戦略立案があつて、垂井町の成長戦略にどう活用するのか、ベースのグランドデザインを踏まえた要求水準書が重要である。また、それを実現できる PPP の制定が必要であり、建設と運営がつながっていないものになってしまうとよくない。公園が古いから利用されていないのかも、といった発言があつたが、そういったこともあるが、全体としてのプロデュースが必要である。

【事務局】

- ・最終的に再整備することが目的ではなく、いかにマネジメントしながら住民の皆様、事業者の方の満足度を上げていくことが重要であると考えている。基本理念は本町の若手職員が検討した結果を踏まえて決定している。基本理念に基づき、基本コンセプトを 3 つ設定し、1 番目がスポーツを通じた住民の皆様の健康増進、2 番目がスポーツをやらない人も利用でき、イベントなどでにぎわいのある公園、3 番目が今後の防災面や官民連携で民間の力を借りながら、これからの 50 年をどのようにしていくかを位置付けている。全ての利用者の意見は叶えられないが、ある一定の割合で満足できる部分はあると思う。公園全体の設計・施工やその後の維持管理については、民間の収益をつくることでサービスの向上に繋がれるようにしていきたい。昨年度、民間事業者を対象にサウンディング型市場調査を実施したが、多くの事業者にとって魅力のある公園であり、再整備をした場合、指定管理の中で子どもたちへのスポーツ普及活動など、いろんなことができると意見をもらった。今後、要求水準書を作成する段階では、更なるサウンディング型市場調査を実施していきたいと思う。

【委員】

- ・朝倉運動公園は遊具が少ないため、自分はほとんど利用していない。自分が子どもたちと公園に行く場合、岐阜のファミリーパークや弥富にある公園などに行っている。遊具がたくさんあって、遊びの中で体力が付けばよいと考えている。今の子育て世代は、先ほど事務局から話のあった 2 公園（サンコーパレットパーク、もとまるパーク）に行っていると思われる。体育館の整備についての説明が多かったが、公園内に遊具が整備され人が集まれば町の人口増加にも繋がると思う。
- ・第 1 回委員会で、飲食店もあつたらよいと発言したが、アンケートでも同様の意見が多く、とても望まれていると感じた。道の駅のように、そこに行けば垂井町の有名なものが買えたりワークショップができたり公園で遊んだ人が休憩できるような場所があればよいと思う。先日、富山県の道の駅に行った際に、観光客ではなく地元の子どもたちが浅い池で遊べる場所があつ

た。こんな場所が垂井町にもあればたくさんの方が利用してくれると感じた。

【事務局】

- ・遊具の整備については、アンケートのご意見でも多くあったため、そのようなところも軸にしていきたいと思う。

【委員】

- ・朝倉運動公園は山裾にあり学生さんが自転車で行くのは難しいため、バスなどの交通手段の確保も視野にいていただきたい。
- ・子育て支援の委員であるが、最近はこども園でもブランコなどが撤去されており、遊具で遊べる場所がないという意見がある。安全を確保しながら遊具で遊ぶことができるとよい。また、おむつ替えの施設もほしい。
- ・採算がとれないと飲食施設は厳しいと思うが、パレットピアおおののような複合的な施設も取り入れることを視野にいていただきたい。最近、指定管理の撤退の話題をよく聞くため、そういう問題がないように考えていただきたい。

【委員】

- ・遊具の充実については、優先順位をつけてやってもらおうとよい。遊具なら何千万円も何億円もかからないのではないか。したがって、来年くらいから遊具整備をやってもらえるとよい。

【委員】

- ・遠い位置に遊具だけ置いてもらっても利便性は低いかもしれない。

【委員】

- ・朝倉運動公園ではなくても、平らな場所に遊具を整備するのがよいかもしれない。

【委員】

- ・自販機もなくて不便ということも聞く。

【事務局】

- ・公園までのアクセスについて困難ということは承知している。こうした環境整備も課題として考えていきたい。
- ・本町は子育てファーストタウンたるいを掲げているため、遊具やベビーシートなどもセットで考えていく。最近では、旧役場跡地にワイワイプラザ垂井が整備され、この夏休み期間中も多くのお子さんが施設内のネット遊具や屋外のインクルーシブ遊具で遊んでいる。旧役場付近の相川児童公園も多くの人が利用している。トイレや遊具についても、公園全体のマネジメントを踏まえ適正な整備をしていきたい。
- ・今後、民間事業者公園全体を管理・運営していただきたいと考えているため、仮に来年度予算化して大型遊具を山の上に整備した場合、民間事業者の意向と異なると手戻りが発生する恐れがある。事業者が収益を上げることができる場所に遊具等も整備していきたい。
- ・多くの住民の方に、垂井町は公園が少ないという意見をよく聞く。私の娘は社会人になって町外へ転居したが、転居先の住居の徒歩圏に街区公園が複数あることを知った。こうしたことも踏まえて垂井町全体の公園についても考えていきたい。

(4) 官民連携方針について

【委員】

- ・垂井町としてどの手法が有力であると考えているか。

【事務局】

- ・公園全体の整備計画が決まってからになると思うが DBO が有力であると考えている。昨年度のサウンディング型市場調査の結果、PFI は規模が大きい場合に有効であると考えている。Park-PFI については、平日の公園利用者数が少ないため、民間事業者の意見では厳しいと聞いている。

【委員】

- ・ワイワイプラザが事例としてあがったので発言させてもらう。設計のときに指定管理者として意見を述べさせてもらう機会を設けていただいた。要望について意見を取り入れていただいたが、事業戦略について、どのようなグランドデザインを立てて、この施設をどのように垂井町の成長戦略として位置付けていくのか深掘された議論がなかった。
- ・PPP の手法は長所、短所があり、採算が取れるかという課題がある。
- ・多くの一般の人にとって指定管理がどういうものなのか、NPO 法人がどういうものなのか理解が進んでいない。NPO 法人は営利目的の法人とは違うが、多くの人は会費をもらって儲けているという誤解もある。
- ・全国的に多くの指定管理者が経費を賄えず撤退している。これは、適正な指定管理料が支払われていないためである。
- ・これまでは行政依存の行政サービスが日本は充実していた。すなわち、こういう施設は税金を払っているのだから安く利用できて当たり前という考えがあった。しかし、そういう時代はもう終わっている。新たな地域住民がこのような施設を主体的に財産として、誇りを持って、発展させていくという意識をどのように醸成するのかという戦略について、チームを作って、立案および活動していく必要がある。これがないと多くの反対意見と混乱が起これると思う。受益者負担も含め、自分達の施設を自分達でどうやって守っていくのかということを考えさせていく必要がある。

【事務局】

- ・ワイワイプラザは、垂井町において初めての官民連携手法ともいえる。これからはこういう手法が必要とされる時代である。役場職員が予算を付けて、ものを作り、管理する時代は終わったと感じている。官民連携における垂井町としての思いを要求水準書などでどのように示していくかということは今後考えていきたい。

【委員】

- ・垂井町の施設なのだから、垂井町の受益につながる整備とすべきと考える。
- ・将来におけるエネルギー対策といった視点も含めて検討していかないと持続可能にはならないと考える。

【事務局】

- ・ 町民の受益については、町民の皆様から税金という形で負担をいただいている。基本コンセプトにあるとおり、町民の健康増進、にぎわい創出、防災面の安全確保など、まずは町民の目線に立った公園整備を心掛けていきたい。
- ・ 持続可能なエネルギーに関する視点はそのとおりだと思う。そのあたりの視点は抜け落ちていたかと思う。公園全体を整備しようとするので50億円ぐらいかかると思う。これは現実的に不可能だと考える。したがって、すべての面を整備するのではなく、何かしらの持続可能な活用もあるのではないかと考える。基本構想においても、そのような視点を取り入れていきたい。

【委員】

- ・ 平日日中の利用をどう促進するかが課題としてあげられる。体育館にしても企業の会議やものづくりの展示など、利用を複合化する視点での検討もあるとよいと思う。外からお金を稼ぐという視点も大事だと思う。

【事務局】

- ・ セミナーハウスの集会機能、会議室の機能を新体育館にもってこることも検討している。アンケートにもあった空調設備やジムも、新たな機能として導入していきたいと考える。大垣市が大垣公園の再整備に向けた基本構想を昨年度策定している。その基本構想では、大垣城ホールを公園外に移設するというにしておき、今年度は大垣城ホールにどのような機能をもってくるかという検討に入っている。本公園においても同様のステップで検討していきたいと思っている。本公園における体育館の新機能についても、アンケートやこれからの委員会でのご意見などから検討していきたい。

3. 閉会

【委員長】

- ・ ご意見、質問等があれば事務局に問い合わせをすること。
- ・ 本日の検討委員会の議題は終了させていただく。
- ・ 今後とも基本構想策定に向けた検討が順調に進むようご協力をお願い申し上げます。

【事務局】

- ・ 本日は、非常に多くの意見をいただきありがとうございました。
- ・ 次回委員会は令和6年11月25日（月）15時から垂井町役場垂井ホールでの開催とする。
- ・ 以上をもって第2回委員会を閉会とさせていただく。本日は、誠にありがとうございました。

以 上